

令和6年度 地域でつながる家庭教育応援事業
第1回地域家庭教育推進県北ブロック会議

日時：令和6年6月11日（火） 14：00～16：00

場所：自由民主福島会館

参加者：委員20名 事務局等10名



<地域でつながる家庭教育応援事業の推進について>

1、令和6年度の取組について

地域家庭教育推進県北ブロック会議

県北地区の家庭教育の課題を明らかにし、事業推進の方向性を協議するために、年2回開催します。

(R6.6.11、R7.1.16)

親子の学び応援講座

県北地区の家庭教育の課題や連合PTAのニーズに合った講座を開催できるように講師選定等の支援を行い、親子で学ぶ機会となるように支援します。

家庭の教育力の向上



家庭教育支援者地区別研修会

県や地域の課題を受けて、地域の家庭教育支援者の実践力の向上及び新たな家庭教育支援者の育成による地域の家庭教育力の向上を目指して研修会を行います。

家庭教育応援企業推進活動

子育て世代の従業員が学ぶ機会を設けたり、職場全体で子育て世代を支える雰囲気醸成できるよう、情報提供をしたりすることで家庭教育の充実を図ります。

<県北地区の事業推進の方向性について>

1 県北ブロック会議の事業推進テーマ

令和6年度からの方向性についてブロック委員から意見をいただいたところ1番多かったのは、「親子のふれあい、コミュニケーション」、2番目に多かったのは、「子どもの褒め方、個性の伸ばし方」でした。どちらも親と子どもの関係に関する内容であり、話合いの中でも親と子の関係性がよければ、様々な問題も起きないのではないかという意見がありました。



そのため、今年度からは県北ブロック会議のテーマを「子どもの成長に、寄り添い、支える、親のかかわり」として家庭教育を推進していくことが決まりました。

新テーマ (R6～R8)



「子どもの成長に、寄り添い、支える、親のかかわり」

2 事業推進の方向性

A～Dの4つのグループに分かれて、「家族のかかわりでの課題」、「課題解決のためにどんなことができるか」についてブロック委員で協議を行いました。

【家族のかかわりでの課題】

希薄なコミュニケーション

- ・あいさつをしない子どもや親
- ・家族で一緒に過ごす時間の減少
- ・会話数の減少、SNSを介した会話
- ・コミュニケーションが苦手な子どもと親

家族機能の低下

- ・親の前ではよい子で素の姿を出せない、相談できない子ども
- ・子どもを叱ることができない、しつけ方が分からない親

- ・親の負担が多く余裕がない(核家族、経済的不安等)
- ・スマホの普及等時代の変化による価値観の変容
- ・親や地域の大人の学びの時間や場がない
- ・親同士のコミュニケーションの場の減少
- ・地域社会とのつながりの希薄化



【課題解決のためにどんなことができるか】

- ・親が子どもとのコミュニケーションのとり方を学ぶ場をつくる。
- ・「正しい叱り方」の講演会や、グループトークを行うことで、親同士のコミュニケーションの場を作っていく。
- ・成長過程に応じた接し方の講座(言葉使い方、子どもの叱り方)を行うことで、子どもと一緒に親も成長していくことができるようにする。
- ・親子で時間の使い方を学び、子どもとの時間をつくるという親の意識を高める。
- ・家族で家事の分担をする(子どもに役割をもたせる、親子のコミュニケーション)。
- ・毎月、第三日曜日の「家庭の日」は、親子のふれあいを大事にしてもらうよう企業や学校に呼びかける。

みなさんは、子どもの話を途中で遮ったり、代弁したりしないで、最後まで余裕をもって、聴くことができますか。学校では最近、校則の見直しがされるようになってきています。学校も家庭も、子どもたちの意見をよく聴いて、折り合いをつけたり、すりあわせをしたり、上手く合意形成を図っていくことがこれからは大切になります。

**子どもを真ん中にしながら、親も学校も地域社会も
同じ方向を向いて、子どもたちと一緒に成長し合える、
そんな県北ブロックを目指しましょう！**

